

## 2025年日本国際博覧会シグネチャーパビリオン「Better Co-Being (いのちを響き合わせる)」 (宮田裕章プロデューサー)における商品販売参加事業に係る企画提案公募について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記の通り最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

### 1. 審査手法

事業者から提案のあった内容について、令和6年10月17日に事業予定者選定委員会を開催し、採点結果により契約候補者を選定しました。

### 2. 審査結果

#### (1) 最優秀提案事業者（契約候補者）

株式会社読売新聞社大阪本社

#### (2) 提案事業者（五十音順）

株式会社読売新聞社大阪本社

#### (3) 評価

① 88.7点

### 3. 最優秀提案事業者の選定理由（講評）

- ・パビリオンの趣旨に沿った提案をしている。
- ・新聞社としての実績が豊富にある点が評価できる。
- ・全国各地の情報ネットワークが強みである。

### 4. 選定委員会委員

委員名簿

(五十音順・敬称略)

| 氏名     | 所属                           | 選任理由                                    |
|--------|------------------------------|-----------------------------------------|
| 国枝 よしみ | 大阪成蹊大学教授<br>(副学長／国際観光学部長)    | マーケティング、地域研究の専門家としての観点を中心に総合的に審査いただくため。 |
| 清水 苗穂子 | 阪南大学国際観光学部教授                 | 観光学、都市魅力の専門家としての観点を中心に総合的に審査いただくため。     |
| 宮田 裕章  | 2025年日本国際博覧会<br>テーマ事業プロデューサー | テーマ事業プロデューサーの視点から提案内容について審査するため         |